

令和5年度 シラバス

愛媛県宇和島高等学校津島分校

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	学年	1	類型	
教科書	新編言語文化			副教材	新編言語文化学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点		
				知	思	主			
1 学期	4	随筆	さくらさくらさくら 筆者のものの見方や感じ方を読み取る。		○		学習のねらい 1学期は随想や小説の1を題材に、発想や表現のおもしろさを味わうとともに、人間に対する洞察力を深めます。また、古文・漢文では、音読して古文漢文のリズムを味わい、初歩的な文法や訓読の基本を習得します。 2学期は、小説「羅生門」を読み、登場人物の心情の変化を読み取ります。また、「詩歌」では詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養います。さらに、古文「伊勢物語」や漢文の「故事・史話」を学ぶことで、古人の考え方を学びます。 3学期には、小説3を題材に多様な小説に触れ、小説の読解やその世界が広がる楽しさを学びます。また、古文「奥の細道」を学ぶことで、古人の人生観や物の感じ方を学び、自分の人生についての考えを深めていきます。		
			"			○			
	5	古文入門	古文に親しむ	古典の文章を味わい音読する。				○	
			児のそら寝	古文を読む基礎となる文語の決まりを理解する。		○			
				中間考査	◎	◎			
	6	漢文入門	訓読の基本	漢文の特色を知り、きまりを理解する。				○	
			故事成語一三編	格言や故事を読んで、漢文の世界に親しむ。		○			
小説1		とんかつ	表現に注意しながら、登場人物の心情を読み取る。		○				
						○			
			期末考査	◎	◎				
7	随筆	徒然草	古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。			○	学習の目標 社会人として必要な国語の基礎・基本的な力を身に付けます。様々な文章を読んで、内容を的確に読み取ったり味わったりし、ものの見方や考え方を広げていきます。		
			作品の内容を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。			○			
2 学期	8						評価の観点 知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 思考・判断・表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 主体的に学習に取り組む態度		
	9	漢詩	絶句と律詩一七首	漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取る。		○			
				"				○	
	10	小説2	羅生門	場面の展開に即して、登場人物の心情などを読み味わう。		○			
				"				○	
		物語	伊勢物語	物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 中間考査	◎	◎			
				伊勢物語	物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。			○	
				論語	論語一八章	孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えをとらえる。			○
				"	"			○	
11	詩歌	雪の深さを【俳句】	俳句のリズムを味わい、鑑賞し、理解を深める。		○				
		冬が来た・少年の日・I was born	詩のリズムを味わい、表現の工夫について理解する。		○				
			"			○			
12			期末考査	◎	◎				
	史話	史話一三編	話の展開に即して、内容を理解する力をつける。		○				
			"			○			
			"			○			
3 学期	1	小説3	夢十夜	作品の内容を読み取り、登場人物の心情について理解する。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
				"		○			
				"				○	
	2	紀行	奥の細道	文章の構成や表現の特色を理解し、作品を読み深める。				○	
				作品の内容を読み取り、作者の思いを捉える。		○			
				"				○	
3			学年末考査	◎	◎				
	詩歌	折々の歌	詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉える。		○				
			"		○				
			"			○			

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【言語文化の目標】

- 漢字力をつけよう。
 - ・月に2回全校一斉の漢字テストがあります。毎回100点をとるつもりで頑張りましょう。
 - ・希望者を募り、年4回漢字検定を実施しています。2年までに3級以上合格を目標に挑戦しましょう。
- 読解力をつけよう。
 - ・教科書の文章を、じっくり読み味わいましょう。
 - ・いろいろなジャンルの本を読み、ものの見方・考え方を広げましょう。
- 表現力をつけよう。
 - ・作文やスピーチに取り組むことによって、自分の考えや意見を人に伝えましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1つの単元の授業の流れは、次のようになります。
 - ① 教科書を読みます。
 - ② 出てくる漢字や難語句について、基本問題集を用いて調べ確認します。
 - ③ 本文を読解します。
 - ④ 学習課題ノートを用いて内容を確認します。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- 国語辞典を用意し、わからない語句はその都度調べましょう。
- 古典の学習では、特にすらすらと音読できるよう何度も練習しましょう。

【家庭学習】

- 漢字は毎日欠かさず練習しましょう。
- 本を読んだり新聞に目を通したりして、見聞を広げましょう。

【定期考査】

- 教科書をじっくり読み返し、ノートや問題集・プリント類を見直しましょう。
- 特に漢字は正確に書くことを心掛けましょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度の三つの観点から評価します。	
評価の規準	1 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合的に評価